

| | | | |
|------|-------|----------------------|----|
| 授業科目 | 手話・点字 | 1 学年・後期・1 単位 (30 時間) | |
| | | 全学科 | 選択 |

| | | | |
|---------|---|-----------------|---|
| 科目担当責任者 | 有木茂 (教育研究棟 D827 号) e-mail : sarikscb@sapmed.ac.jp | 非常勤講師 連絡担当教員 | |
| 担当教員 | 手話：(若浜ひろ子)、(藤井義子) 点字：(坂井延弘)、(福山紀枝子) | | |
| 概要 | 聴覚障害者の言語である「手話」の基本と聴覚障害者に関する知識を学ぶ。外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に、適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学ぶ。 「点字」の実技を学ぶと共に、視覚障害者への教育、社会的ハンディキャップなどを正しく理解する。また、視覚障害者に関する知識を取り入れ、医療に役立てられるようにする。 | | |
| 到達目標 | 手話 1. 医療場面における聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。 2. 聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。 3. 聴覚障害者が社会生活を送る上での様々なバリアについて考察し、説明できるようになる。 点字 1. 点字の表記法を五十音から文章構成まで説明できる。 2. 簡単な点字の文章を作ることができる。 3. 視覚障害者とのコミュニケーションの要点を説明できる。 | | |
| 関連科目 | なし | | |
| 評価 | 評価対象 | 評価割合(%) | 備考 |
| | 手話：手話実技 | 25% | 「手話」、「点字」両方の評価が6割以上となった場合に単位を付与する。総合評価が6割以上でも「手話」、「点字」いずれかの評価が6割未満であれば不合格となるので注意すること。それぞれの評価については以下を参照すること。 手話：全ての講義終了後に実技試験を行う。小論文・レポートの課題は講義内で提示するので、指定された期日までに提出すること。 点字：全ての講義終了後に点訳試験・墨訳試験・筆記試験を行う。 |
| | 手話：小論文・レポート | 25% | |
| | 点字：点訳・墨訳試験 | 40% | |
| | 点字：筆記試験 | 10% | |
| | | | |
| 教科書 | ①公益社団法人札幌聴覚障害者協会 [2018年・1,100円] 「さっぽろの手話」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 ②日本点字委員会 [2013年・537円] 「点訳のしおり」 日本点字図書館 | | |
| 参考書 | ① [2009年・880円] 「さっぽろの手話(医療編)」 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 ② [2006年・2,200円] 「医療の手話シリーズ①外来編」 財団法人全日本聾啞連盟 ③ [2016年・2860円] 「わたしたちの手話学習辞典Ⅰ・Ⅱ」 一般財団法人全日本ろうあ連盟出版局 | | |
| 履修上の留意点 | 手話：①手話は手の動きだけで覚えるものではなく、表情、心、身体全体の動きが必要です。 ②ひとつひとつの動作に意味があるため、正しくマスターするためには講師によるチェックが不可欠です。 ③「さっぽろの手話」を必ず携帯すること。 点字：「点訳のしおり」を必ず携帯すること。 * 「手話・点字」のテキストは大学書房では販売しません。教務係から購入の案内があります。 * 看護学科と理学療法学科・作業療法学科にクラス分けして開講するので時間割に注意すること。 * 北海道札幌視覚支援学校の見学は、受け入れ側の都合により実施回変更や中止になることがある。 * 試験の詳細な実施日程は、講義内あるいは学生サポートシステムで通知する。 | | |

| 実施回 | 内 容 | 事前・事後課題 | 形態 | 担当教員 |
|-----|--|-------------------------|-------|---------------|
| 1 | 点字の意義 五十音・数字・アルファベットの表記と点字の仮名遣い | 事後：五十音・数字・アルファベットの表記の復習 | 講義・演習 | (坂井)・ (福山) |
| 2 | 北海道札幌視覚支援学校見学 | 事後：感想文の作成 | 〃 | 〃 |
| 3 | 分かち書き 1(基本的区切り方・助詞・助動詞) 分かち書き 2(形式名詞など・補助動詞) | 事後：墨訳問題の解答 | 〃 | 〃 |
| 4 | 分かち書き 3(複合動詞・複合形容詞・複合名詞) 分かち書き 4(固有名詞・接頭語・接尾語・行移しなど) | 事後：墨訳問題の解答 | 〃 | 〃 |
| 5 | オリエンテーション 講義：聴覚障害の基礎知識 I 「聴覚障害・コミュニケーションについて」 実技：「身振りで伝えあってみましょう」 | 事後：挨拶と簡単な手話の復習 | 講義・演習 | (若浜)・ (藤井) |
| 6 | 講義：手話の基礎知識 I 「手話言語について」 実技：挨拶・自己紹介・指文字(五十音) | 事後：自己紹介・指文字の復習 | 〃 | 〃 |
| 7 | 実技：①家族の手話 ②趣味の手話 | 事後：家族・趣味の復習 | 〃 | 〃 |
| 8 | 講義：聴覚障害の基礎知識 II ①DVDを鑑賞し、聴覚障害者の生活を考える ②福祉制度について 実技：会話練習 | 事後：会話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 9 | 講義：聴覚障害の基礎知識 III 「聴覚障害者の生活について」 実技：数の手話 | 事後：数の復習 | 〃 | 〃 |
| 10 | 実技：時に関する手話① 医療に関する手話表現・会話① | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 11 | 講義：手話の基礎知識 II 「ろう教育について」 実技：時に関する手話② | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 12 | 実技：医療に関する手話表現・会話② | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 13 | 講義：聴覚障害の基礎知識 IV 「耳の仕組み・聞こえの仕組みについて」 実技：医療に関する手話表現・会話③ | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 14 | 実技：まとめ「医療に関する手話表現・会話の演習」 | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |
| 15 | 実技：①読み取り事前練習 ②まとめ「医療に関する手話表現・会話の演習」 | 事後：医療に関する手話表現の復習 | 〃 | 〃 |